

《 やればできる③ 》

勉強ができる子の5つの特徴



【特徴1】 自分から進んで勉強している

お子さんが自分から勉強するようになるために保護者ができることは、勉強を強要しないことと、お子さんがモチベーションアップできる環境を整えることだと言えるでしょう。「早く済ませちゃった方が、あとが楽だよ」と気付かせてあげて、進んで机に向かったら「すごいね！さすがだね！」とほめて、習慣づけてあげましょう。



【特徴2】 予習・復習を中心とした学習習慣が身についている

勉強のできる子は1日数分でも勉強する癖がついていることが多いです。勉強が習慣になると、勉強しない日に落ち着かないほどになると言われています。少しずつでも確実に勉強量が増えるため、その分結果がついてくるのが期待できます。学校の授業がわかると自信がつき、勉強のモチベーションにもつながるでしょう。

【特徴3】 保護者と一緒に学習する時間がある

勉強している子の中には、保護者との家庭学習時間をうまく活用しているケースが多くあります。「今日はこんなことを学校で習ったんだよ！」という会話をしながら勉強すれば、勉強の時間が身近で楽しいものになります。また、学校で習った内容や宿題などでわからないところがあれば保護者と一緒に解決できるため、つまずきも防げます。



【特徴4】 基礎的な学力の習得に努力している

基礎的な学力の習得に努力しているお子さまは、学習の土台がしっかりするため、勉強ができる傾向にあります。基礎的な学力に当たるものは、算数ではひと桁の足し算や引き算、九九、国語では読解力などが挙げられます。読解力を伸ばすには、さまざま本を読ませることが効果的です。低学年のうちには保護者が読み聞かせてもいいでしょう。

【特徴5】 保護者によくほめられている

保護者にほめられると、お子さまは「自分は認められているんだ！」という自己肯定感を抱けるようになります。勉強についてできたことを保護者がしっかりほめてあげれば子どもの自信になり、勉強に対するモチベーションがアップします。高いモチベーションを保って勉強するようになれば結果もついてくるでしょう。



勉強ができる子は何もしなくても勉強ができているわけではなく、実は一人一人、こうした勉強法を身につける努力をしています。そして、そのためには保護者のサポートが非常に大切なのです。今回ご紹介した特徴を踏まえて勉強すれば、どんな子でも自分で進んで勉強し、勉強した内容をしっかり吸収できるようになるでしょう。ぜひ実践してみてください。 「ベネッセ教育情報サイト」